



# INDOMITABLE SPIRIT 女子サッカー部報告 INDOMITABLE SPIRIT

## ~全日本女子ユース(U-18)選手権~

### 初出場の日テレ・常盤木に健闘

#### 1次ラウンド 1勝 2敗で敗退

JOCジュニアオリンピックカップ第14回全日本女子ユース(U-18)選手権大会は1月3日から熊本県民総合運動公園で行われ大阪桐蔭高校は1次ラウンドCグループ 1勝 2敗で3位となり目標としていたベスト4進出はならなかった。第1戦で優勝候補の日テレ・メニーナ(関東2位/東京)に0-1と惜敗、続く柳ヶ浦(九州2位/大分)に5-1で勝利したが最終戦で強豪常盤木学園(高校2位/宮城)に3-4で敗れた。

ベスト4に進出したのはCグループ 3勝の日テレ・メニーナと日ノ本学園(兵庫)、藤枝順心(静岡)、十文字(東京)。準決勝で日ノ本学園に3-1で勝利した日テレ・メニーナと十文字を1-0で破った藤枝順心が決勝を戦い、日テレ・メニーナが1-0で3度目の優勝を飾った。

#### ◇1次ラウンド第1戦(1月3日、サッカー場)

##### 40分ハーフ(カッコは前半のスコア)

大阪桐蔭高校 0-1(0-1)日テレ・メニーナ

【得失点】24分失点

過去5年で優勝と準優勝が1回ずつ、3位が3回と常にベスト4入りを果たしている強豪日テレ・メニーナは、9月にトリニダード・トバゴで行われたU-17世界大会準優勝日本代表メンバーに4人送り込み、この他スタメン6人が中学生というエリート集団。個人がとて強く、先発平均身長が155.1cmと小柄ながらも上手く体を使いパスサッカーをするチームだ。開始から相手コートでプレスをかけ高い位置で奪ってチャンスを作ったが決定機で決めきれなかった。前半24分、中盤で奪われたボールから右サイドを上がったサイドバック清水に出てクロスを上げられ、これにあわせた鳥海がヘディングでゴールを決めた。後半もプレッシャーをかけチャンスを作ったものの2回のシュートチャンスをもにすることができず終了した。ベスト4進出には最低でも勝点をあげたかったが、強固な守備をこじ開けることができなかった。

#### ◇1次ラウンド第2戦(1月4日、補助競技場)

大阪桐蔭高校 5-1(3-1)柳ヶ浦高校

【得失点】7分金井、8分失点、31分金井、40+1分金井、45分金井、64分松井

この試合前に行われた日テレ・メニーナと常盤木学園の試合は1-0で日テレ・メニーナが勝利したため日テレ・メニーナの1位抜けが濃厚となった。大阪桐蔭高校は1勝を目指して戦った。7分に金井のすばらしいゴールで先制し

たがすぐ中央突破から追いつかれた。しかし攻撃的に戦った成果が実を結び31分フリーキックのチャンスから金井が2点目のゴールで勝ち越し、ロスタイムにも金井のハットトリックとなる3点目で突き放した。後半5分に金井が4点目をあげ、24分にはキャプテン松井が左コーナーキックを直接決めて大勝した。

#### ◇1次ラウンド第3戦(1月5日、ラグビー場)

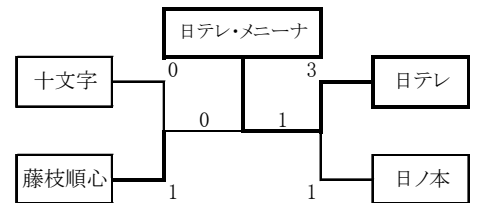
大阪桐蔭高校 3-4(2-1)常盤木学園

【得失点】2分失点、27分濱本、33分濱本、47分濱本、64分失点、67分失点、72分失点

常盤木学園は過去優勝3回、準優勝1回を誇る。しかし今回は第2戦で日テレ・メニーナに敗れたためベスト4進出の可能性はなくなった。大阪桐蔭高校にとっては夏の高校選手権で敗れた相手に「ジャイアントキリング」を起こそうと全力でぶつかった。常盤木学園は3年生を試合に出さず、1、2年生だけでメンバーを組んできた。2分に先制点を許し大量失点も覚悟したがその後落ち着きを取り戻し反撃に出た。27分に赤坂のシュートをゴールキーパーがファンブルしたところに濱本がつめ同点、さらに33分赤坂からのスルーパスを受けた濱本がシュートし、一度はポストにあったボールを押し込み逆転した。さらに後半7分吉田のパスを濱本がハットトリックの3点目を上げたときには、誰もが勝ちを確信した。しかしここから常盤木学園の怒濤の反撃を止めることができず連続3失点してしまい勝つことができなかった。

| グループ | 1位       | 2位      | 3位      | 4位        |
|------|----------|---------|---------|-----------|
| A    | 十文字(東京)  | 聖和(宮城)  | 北海道明清   | MELSA熊本FC |
| B    | 藤枝(静岡)   | 神村(鹿児島) | 広島文教    | 鳴門(徳島)    |
| C    | メニーナ(東京) | 常盤木(宮城) | 大阪桐蔭    | 柳ヶ浦(大分)   |
| D    | 日ノ本(兵庫)  | 福井      | 常葉橘(静岡) | 東北(宮城)    |

決勝ラウンド



3位決定戦 日ノ本 2-1 十文字

## 謝恩会&親子サッカー

1月23日、本館グラウンドで親子サッカーを行った。多くの保護者が参加し、OGを含めて交流を深めることができた。年に一度卒業生が集まる企画として定着させたい。またこの後大阪市内のホテルで3年生保護者主催の謝恩会が行われた。3年生は高校生活の思い出を劇にして披露、監督、コーチ、平沢接骨院の方々や保護者、後輩達に感謝の気持ちを伝えた。

## 第26期生とのお別れ

1月22日、第26期生卒業式が行われた。女子サッカー部では優等賞に松井、丸木が選ばれ、精励賞に中村、湯浅。クラブとして桐蔭名誉賞、部活動功労賞を受賞した。3年間楽しいことも苦しいことも乗り越えてきたこの学校と、クラスメイトとの別れを惜しみながらも、晴々とした表情で卒業していった。

3期生は「仲間力」という言葉を記した団旗を残してくれた。この言葉を胸に刻んで新チーム丸丸となって、世界一のチームをつくっていききたい。

### 1・2年生からメッセージ

女子サッカー部3期生のみなさん本当にいままでありがとうございました。卒業しても桐蔭ファミリーとして私たちにいつまでも温かく見守っててください。今後の活躍を応援しています。